

平田建設が道路清掃活動

歩車道のごみを一掃

ロードスイーパー用いて丁寧

【帯広発】(株)

平田建設(土幌、野中栄忠社長)は六日、地域貢献の一環として、本社前を走る道道土幌停車場線五百区間の道路清掃を行った。野中社長ら役員三十



二人が参加。歩道のごみや土埃をほうきで車道に掃いたあと、ロードスイーパーを用いて丁寧に回収した。写真。

地域貢献の一環として、二十二年度から、毎年実施しており、ことしで六年目

となる。同社は「道景観づくりサポート企業」に登録しており、地域の景観づくりに積極的に取り組んでいる。道路清掃もそうした活動の一環。

作業の前に、野中社長があいさつ。「雪が融けて、

土埃やごみが目立つようになった。春風が吹く前に町民の方が気持ちよく買い物できるように、学生が気持ちよく通学できるように清掃していきたい。人通りが多いので十分配慮しながら、商店街や地元の人と作業していこう」と呼びかけた。

このあと、野中社長ら役員三十二人が参加。本社前を走る、道道土幌停車場線のうち、国道二七四号から町道土幌二六号交差点までの五百区間の道路清掃を行った。冬の間溜まった砂利や吸い殻などを丁寧にほうきで車道に掃いたあと、ロードスイーパー二台を使って、丁寧に回収。最後に、機械では回収できなかったごみや土埃なども手押しスイーパー二台を使って丁寧に拾い集めた。作業を進めるに当たっては、交通誘導員を配置し、交通の妨げにならないように気を配りながら清掃活動を行っていた。